

指導資料



鹿児島県総合教育センター

英語 第65号

- 中学校，特別支援学校対象 -

平成20年5月発行

英語科における「表現力」を育成する学習指導の工夫

本県の「基礎・基本」定着度調査の結果から，中学校英語科においては，「話すこと」や「書くこと」における表現力をみる問題の通過率が低いことが課題として挙げられている。この課題解決のためには，言語の使用場面や相手に応じて適切に「話すこと」や，目的に応じて自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように「書くこと」などの表現力を育成する学習指導の充実が一層求められる。

そこで本稿では，口頭練習等により基本表現の確実な定着を図り，その後，自分の考えや気持ちを英語で書いたり，話したりするなどの表現力を育成する学習指導について述べる。

1 表現力育成のための学習指導上の留意点

中学校英語科の授業において，スキット，ドラマ，暗唱，スピーチなど「話すこと」の言語活動を通して表現力を育成する取組が多く見られる。一方，「聞くこと」や「読むこと」の言語活動においては，概要把握や内容理解を行うことに重点が置かれていることが多い。英語でコミュニケーションを成立させるためには，相手の意向などを聞いたり，読んだりして理解し，さらに適切に応じることが不可欠である。

そのために，4領域の言語活動の効果的な関連を図り，基礎的・基本的な内容の定着に努めるとともに，その活用のための指導を十分に行う必要がある。

例えば，聞きとった英文のキーワード等を書かせたり，読みとったことの要点を英語で発話させたりするなどして，4領域を関連付けた言語活動を行うことが大切である。

(1) 「話すこと」における留意点

国立教育政策研究所教育課程研究センターが行った「話すこと」についての調査(中学校第3学年対象，平成19年)の中から，基本的な問題の一部の結果を取り上げる。

本設問は，聞こえた英文の音声を後について繰り返すことを通して，英文を正しく組み立てて意味を正しく伝達する「話すこと」の能力をみる問題である。

問い：聞こえた英文を1回繰り返してください。

	問題	通過率
1	We are students.	96.4%
2	I don't playbasketball.	85.9%
3	I gave myfriendflowers.	37.6%
4	TherearemanybuildingsinTokyo.	32.5%
5	I have livedhere for five years.	9.1%
6	When I leftmyhouse,itwasraining.	11.9%

この調査結果から、聞いた英文を復唱することについては、7・8語文になると正答率が1割程度に落ち込んでいることが分かる。

このことから、「聞こえてくる英語を繰り返す」ことが十分できるようにするためには、聞きとった英語の音声の特徴をとらえ、意味を理解させた上でその英語を繰り返させるなど、基本表現の定着を図る練習を十分に行う必要がある。

また、その英語を繰り返し聞かせるだけではなく、その英語の語順や英文中のキーワードを考えさせ、文の構造などを理解させることも大切である。

さらに、語数のより多い複雑な文を復唱できるよう、意味のまとまりを意識させるなどの指導も必要である。

(2) 「書くこと」における留意点

本県の「基礎・基本」定着度調査における「書くこと」についての設問は、主として次の3種類である。

文構造理解問題

- ・ 与えられた語句を並べ替え、英文を完成する。

条件指定問題

- ・ 与えられた日本語に応じるような英文を完成する。

トピック指定問題

- ・ 自分の好きなトピックを選び、そのことについて英語で自己表現する。

及び において、英文の語順を意識したり、意味を考え適切な表現を使用したり、文のつながりや構成を考えたりするなどの力が求められる。

また、 においては、自分で考えたり、感じたりしたことなどについて、適切な表現を使用し、文脈の適切な流れに沿って「書くこと」が求められる。

これらの「書くこと」の力を高めるためには、日々の授業の中で、語彙や文型を確実に定着させることが大切である。

そのためには、生徒に自分のことや身の回りの出来事などについて、3文程度の英文を用いて、「書くこと」に継続的に取り組ませることが必要である。

また、聞いたり読んだりしたことについて、自分なりの感想や意見をもたせ、そのことを「話すこと」や「書くこと」と関連付けて表現するような言語活動を、単元の指導計画に取り入れることも必要である。

2 表現力の育成を目指した基本表現や言語材料の定着を図る学習指導の工夫

表現力の基盤となる基本表現や言語材料の定着を図る学習指導の工夫について、指導事例を通して述べる。

【NEW HORIZON English Course 3】

- (1) 単元：Unit5「CellPhones-FororAgainst?」
- (2) 学年：第3学年
- (3) 言語活動：「話すこと」、「書くこと」
- (4) 単元のタスク
「学校や地域の身近な出来事について、友だちと英語で議論をしよう。」
- (5) 単元構成上の工夫

ア 第1時から第4時は、必要な基本表現や言語材料を理解させ、確実な定着を図る段階とする。

イ 第5時から第7時においては、身近な話題を設定し、自分の考えや思いを英語でまとめる「書くこと」の言語活動を行う。その後、その内容を基に、グループや発表会で発表するなどの「話すこと」の言語活動を取り入れる。

見やその理由を話したり、書いたりすることができるようにする。

【表現の能力】

ウ 教材の内容や友だちの英語による発表を理解できるようにする。

【理解の能力】

(6) 単元の指導計画例

	主な学習内容
第1時	・スキーマの形成、タスクの設定、単元のあらましの把握 Starting Out, Dialog の内容理解
~	・新出語句の理解 ・現在分詞・過去分詞の後置修飾の形、意味、用法の理解と表現練習 ・主語+動詞+ what などで始まる節の形、意味、用法の理解
第4時	・Reading for Communication の内容理解 ・賛成する、反対する、理由を述べる時の基本表現の理解 ・基本表現を定着させるための練習 (Listen&Repeat, loudspeaker など)
第5時	・学習の振り返り及び補足的な学習 ・身近な話題についての情報整理及び英文原稿の作成 ・自分の考えや思いをまとめ、友だちと英語で議論するための英文原稿の修正
第6時	・ペアやグループによる練習 ・ALTを活用した修正及び発表の練習 ・発表会のリハーサル
第7時	・英語で友だちと議論する。<発表会> ・補充学習、相互評価、自己評価

エ 現在分詞・過去分詞の後置修飾、主語+動詞+ what などで始まる節や英語で議論するときの表現方法などを理解できるようにする。

【言語や文化についての知識・理解】

(8) 授業設計上の工夫

本時においては、意見やその理由を述べる基本表現を使用した英語を聞きとったり、書いたりすることなどを通して、基本表現の定着を図りたい。そこで、各領域の言語活動を関連させた Listen&Repeat や loudspeaker を取り入れることにする。

ア Listen& Repeat の活用

聞きとった英語を繰り返す手法を取り入れ、クラス全体で取り組ませたり、聞き手と話し手に役割を分担するなどペアで行わせたりする。この手法で聞きとりに慣れてきたら、聞こえた英語を即座に繰り返す shadowing などに挑戦させる。

イ loudspeaker の活用

グループを編成し、各グループの一人に CD プレーヤーのヘッドセットを通して英語を聞かせ、Listen and Repeat や shadowing を行わせる。また、聞きとった英語を相互に口頭でチェックさせ、書きとらせたりする。本時における loudspeaker の展開の仕方について示

(7) 単元の指導目標例

ア 教科書の基本表現を基に、学校や地域の身近な出来事について、友だちと英語で議論することができるよう、積極的に英語で話したり、書いたりしようとする態度を育てる。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

イ 現在分詞・過去分詞の後置修飾などを用いて、聞き手を想定し、学校や地域の身近な出来事について、自分の意

す（図1）。

<p><例文> テープ又はCDに録音する原稿 掲示板: Children may have cell phones, but they should worry about time and money. (Tom's mother) 賛成: I also think children worry about time and money. NEW HORIZON English Course 3, 54ページの英語を録音する原稿として活用した例</p>	
Step1	グループごとに、テープレコーダー又はCDプレーヤーを用意し、グループの代表にヘッドセットを通して英語を聞かせ、Listen&Repeatやshadowingを行わせる。代表者は、テープやCDを繰り返し聞くことができる。(グループ活動)
Step2	その他のメンバーに、グループの代表が発話する英語をListen & Repeatやshadowingさせる。グループのメンバーは、代表の英語で聞き取れない部分は、繰り返し聞くことができるようにする。(グループ活動)
Step3	グループの代表が聞きとれない場合は、テープやCDにポーズを入れながら繰り返し英語を聞かせるようにする。(グループ活動)
Step4	聞きとった単語、語句、内容をノートに書きとらせる。(個の活動)
Step5	書きとった内容をグループで確認させ、テープ又はCDの英語を再生させる。(グループ活動)
Step6	I agree ~, I don't think ~, If we're ~, Because ~などの基本表現を用いて、自分の意見やその理由を書かせる。(個の活動)

図1 loudspeakerの展開の仕方

(9) 本時のタスク

「英語を聞き取り、自分の意見を述べよう。」

(10) 本時の展開例(4/7)

過程	生徒の主な活動	指導上の留意点
導入	1 英語であいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> 英語学習の雰囲気をつくる。 本単元に関するトピックについて、英文5文程度でTeacher Talkを行う。 原稿を配布し、意味のまとまりで区切り、shadowingを行わせる。一斉からペアの学習活動を展開する。
	2 Teacher Talkを聞きとる。(教師の英語をメモをとりながら聞きとる。)	
	3 Teacher Talkのshadowingを行う。(前時の復習)(一斉 ペア)	

展開	4 本時のタスクを把握する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を述べる際のつまずきに気付かせる場面を設定し、目標達成に必要なことなどを把握させる。
	5 新出語句と基本文を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュカード等を活用する。
	6 本文の概要を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ピクチャー等を用いて視覚的に導入し、インタラクションを図りながら概要を把握させる。
	7 教科書の内容について英問英答する。	<ul style="list-style-type: none"> True or FalseやQ&Aなどにより、理解度を確認する。
	8 教科書の本文を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> 強弱や区切りなど、音声の特徴をとらえさせる。
	9 各グループでloudspeakerに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 聞こえてくる音声の特徴、英文の語順、内容のキーワード、意味のまとまりを意識させるようにする。
	10 loudspeakerで聞きとったことをノートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ノートに書きとらせた英語をグループで確認させる。 原稿で意味を確認させる。
	11 自分の意見やその理由について書く。	<ul style="list-style-type: none"> 賛成する、反対する、理由を述べるとき使用する基本表現を活用させる。
	12 自分の意見とその理由について発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 強弱や区切りなど、音声の特徴に留意させ、発表させる。
	13 授業の感想を述べ合う。	<ul style="list-style-type: none"> 感想と今後の課題について発表させる。
	14 次時の活動について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 今後の課題を明確にもたせる。

各学校において、音声によるコミュニケーションを重視しながら、基本表現や言語材料の確実な定着を図るとともに、自分の考えや気持ちを「話すこと」や、読み手に意向が伝わるよう必要な分量で「書くこと」などの表現力の育成が一層図られることを期待したい。

【引用・参考文献】

- 文部省『中学校学習指導要領解説外国語編』平成11年
 - 影浦攻著『新学力観に立つ英語科授業改善』明治図書 1996年
- (教科教育研修課)

